

特集「ユーザブルセキュリティ」の編集にあたって

高橋 克巳^{1,a)}

「ユーザブルセキュリティ」特集号が出版の運びとなった。ここに編集委員会を代表して経緯と感謝を述べたい。

本特集号は2018年上期に企画され、25名のメンバからなる編集委員会が編成された。同年10月に論文募集を開始。5カ月の投稿期間を経て29件の投稿を得、さらに6カ月の査読と照会を経て、最終的に20件（英語論文4件を含む）が採録された。採録率は69%である。

今回ユーザブルセキュリティの特集を組んだ理由は、セキュリティの重要さにほかならない。セキュリティはスマホやウェブといった日常から社会インフラに至るコンピュータが関わるものすべてに必要なものであるが、その達成で鍵となるのが人の存在である。人にとって使いやすいことでセキュリティは向上し、人が使うことがセキュリティ上の脆弱性となるという性質は、一見自明のようでもあるが、さらに各種のシステムが高度になればなるほど、改めて重要となる。

本特集ではユーザブルセキュリティを、人の利用を考慮に入れたセキュリティ技術・プライバシー保護技術に関するものとし論文を募集した。セキュリティは情報セキュリティを想定し、さらにプライバシー保護も対象とした。

ユーザブルセキュリティは、本特集の母体となったセキュリティ心理学とトラスト（SPT）研究会で、継続的に研究発表や勉強会が行われて来た経緯があり、さらに2017年度からはワークショップも開催するなど精力的に取り組まれてきている。本特集ではユーザブルセキュリティを必ずしも固定された分野としてとらえず、本特集の論文投稿者と読者やこれからの研究者らが確立していくものと考え、論文募集のスコープを柔軟に設定した。論文募集のスコープは、ネットワークセキュリティ、コンピュータセキュリティ、データプライバシーなどの分野で、利便性や効率を分析・改善する研究、運用に関する研究、あるいは人の利用を逆手に取ったサイバー攻撃手法とその対策の研究、エラーの発生に関する研究、さらには研究倫理や同意取得等に関する研究と例示された。

査読プロセスにおいては、本会の論文査読ポリシーである「石を拾うことはあっても玉を捨てることなかれ」を改め

て確認し、査読者各位には論文が持つ貢献を少しでも評価していただくようお願いした。また必要に応じていかに「ユーザブル」であるのかを聞いていただいた。査読委員各位には大変な苦労をお願いすることとなったが、そのことは69%という今回の採録率として実を結んだと考えている。

採録された論文は、認証（バイオメトリクス等を含む）に関するものが最も多く、目次上の分類では6件となった。さらにユーザビリティやプライバシーに関するものが採録されていることが本特集を特徴づけている。またリスク管理や評価に関するものもあり、目次では情報セキュリティマネジメントと分類している。さらにはセキュリティ分野の花形である、ネットワークやオペレーティングシステムに関するものも多く採録された。同対象における人がからんだ技術やプラクティスを発見することができるだろう。

先述のとおり、ユーザブルセキュリティはこれからさらに研究が進み、より実社会のセキュリティの確保やプライバシー保護に貢献することが期待される。その研究の価値と今回の積極的な投稿状況を考えると、ユーザブルセキュリティ研究を本論文誌において継続的にエンカレッジし、再度特集が企画されることを期待したい。

最後に、改めて本特集の機会を与えていただいた情報処理学会論文誌編集委員会、SPT研究会の諸氏に感謝し、本論文誌のあり方に関する真摯な議論と丁寧な査読をしていただいた編集委員各位に感謝し、著者を支えてくれた査読者各位に感謝する。本特集が社会のコンピュータシステムのセキュリティ技術向上に貢献することを心より願う。

「ユーザブルセキュリティ」特集号編集委員会

- 編集委員長
高橋克巳（NTTセキュアプラットフォーム研究所）
- 幹事
斯波万恵（東芝）
島岡政基（セコム）
- 編集委員
市野将嗣（電気通信大学）、猪俣敦夫（大阪大学）、稲葉緑（情報セキュリティ大学院大学）、上原哲太郎（立命

¹ NTTセキュアプラットフォーム研究所
NTT Secure Platform Laboratories

^{a)} katsumi.takahashi.aw@hco.ntt.co.jp

館大学), 大坐島智 (電気通信大学), 金岡 晃 (東邦大学), 小松文子 (長崎県立大学), 五味秀仁 (ヤフー), 坂本一仁 (セコム), 白石善明 (神戸大学), 高田哲司 (電気通信大学), 田中健次 (電気通信大学), 田中俊昭 (KDDI 研究所), 角尾幸保 (東京通信大学), 寺田真敏 (日立製作所), 西垣正勝 (静岡大学), 廣田啓一 (NTT セキュアプラットフォーム研究所), 松浦幹太 (東京大学), 村山優子 (津田塾大学), 毛利公一 (立命館大学), 山口高康 (NTT ドコモ), 吉浦 裕 (電気通信大学)